



No.293

釧路教育研究所

令和元年 6月



「釧路の教育」の充実・発展のために！

釧路管内町村教育委員会連絡協議会

会長 国安 修一

新年度・新学期早々に各組織の体制をいち早く確立していくことが求められており、早いにこしたことはないが、学校数が減り、教職員数が減ってくると、その組織を継続し、維持・発展していくことも容易ではない。釧路の教育は、管内的に組織する各種教育研究団体の存在なくしては成り立たないし、果たしてきた役割と実績は管内教育そのものである。その代表的な組織が釧路教育研究所であり、各町村に組織されている町村教育研究所の存在と役割である。

私も、立場上、組織することの一役を担っているが、自ら、組織構成をするために、各町村教委、各学校、それも1市7町村の学校の校長先生や教頭先生だけでなく、各先生方とも電話での連絡を取らせてもらっている。

4月当初、その用件なるものを、先ず、教頭先生を通じて、時には直接学校にお邪魔をして、仲介またはコンタクトをとってもらった。およそ、20校近くの学校を訪問し、電話をかけさせていただいた。異動したばかりの教頭先生の中には、思わず、前任校の学校名を言ってしまい、あわてて言い直すこともあり、中には、再度、学校名を確認しないと気づかない教頭先生もいたが、それだけ、前任校の教育に心血を注いでいた証でしょう。更に多くの教頭先生が昇任され、電話口からも初々しい言葉がハネ返ってきて、私自身も気持ちが若返る思いであった。その全ての学校の教頭先生の対応が「明るく、元気で、生き生きしている」のを実感し、すべての学校が順調にスタートしたのを嬉しく思う。今、この原稿を書き綴りながら、10連休が明けてそれぞれの学校も順調に教育活動を展開中。どの学校も、二か月ほど経過すると、課題も表出し始めてくる時期。その課題に対して、どう対応していくのか「学校力」としての力量が問われる。教頭先生も真価を発揮すべき時である。

わが鶴居村。初々しい新一年生を迎え、教職員の異動も少なからずあり、それぞれスタートをきった。小さい村だからこそできることをやろう。つまり、「鶴居村ならではの教育」「鶴居村だからこそできる教育」を声高に叫び、叱咤激励をしている。鶴居村教育研究所の集会在、村研の日となっている水曜日、4月17日の午後から鶴居小学校で例年のように開催された。全員が参加しての集会である。私も、必ず、参加するが、貴重な時間帯の中で若干の時間をいただく。時には30分程度の時間、時には5分程度の場合もあるが、どんな時間帯の設定であろうが、最後に、3つのことだけは話させてもらう。

◇前年通り・前例踏襲は一步後退である

◇課題は、全教職員で共有し合い、課題解決に向けて一致協力して取組むべし

◇教師としての言動に責任を持ち、服務規律を遵守すべし

釧路教育研究所、水上所長を筆頭に福原・大西副所長とともに各町村から選出された所員のみならず!!長年培ってきた釧路の教育を更に充実・発展させるべく、ご尽力いただきますようお願いするとともに管内町村教委連でもできる限りの支援・協力を惜しまない。

## 釧路教育研究所の研究

本研究所では平成29年度から、研究主題を「社会に生きる資質・能力を育む授業作り」、副主題を「主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善」に設定し研究を進めてきました。昨年度は授業実践を重ね、研究理論の検証と構築を進めました。今年度は3年次計画の3年目ということで、これまでの成果をまとめ、多くの先生方へ授業改善のヒントを発信できるように研究を進めていきたいと思います。

本研究の研究内容は以下の通りです。

### 〔単元計画の工夫〕

- ・各教科等の特質に応じた見方・考え方を意識した学習活動の設定
- ・深い学びに迫る「学びの地図」を用いた単元構成の工夫

### 〔学習過程の工夫〕

- ・目的意識をもって取り組める問題場面と課題の設定
- ・協働を通して、自分の考えを広げ深める学習活動の工夫
- ・次の学びにつながる振り返りの工夫

このように単元計画と学習過程から授業改善の方向性を探っています。

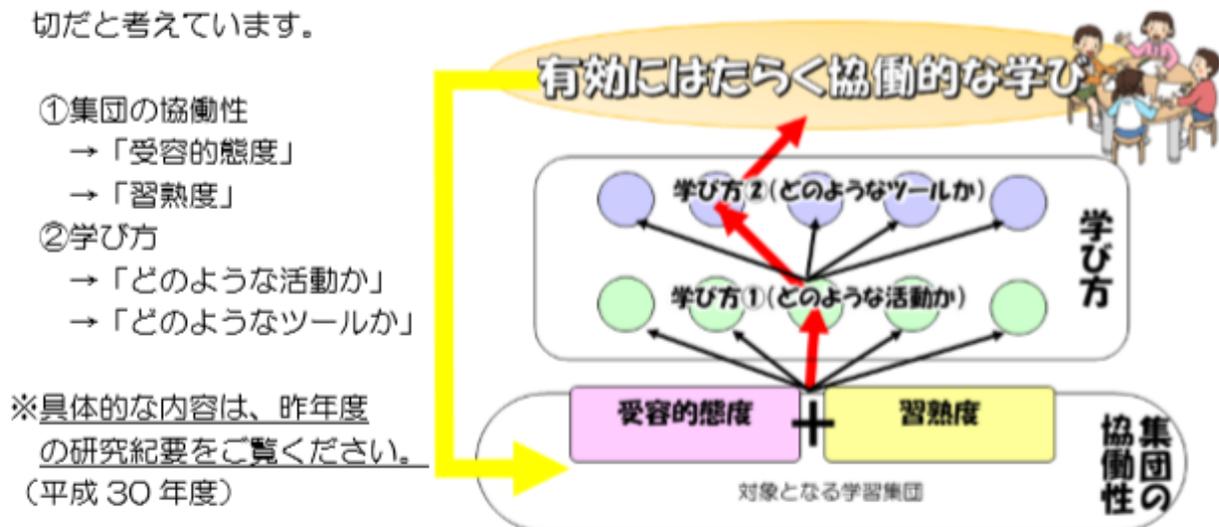
(紙面の都合上、学習過程の工夫「学習活動の工夫」についてのみ説明します)

### 〔学習過程の工夫〕

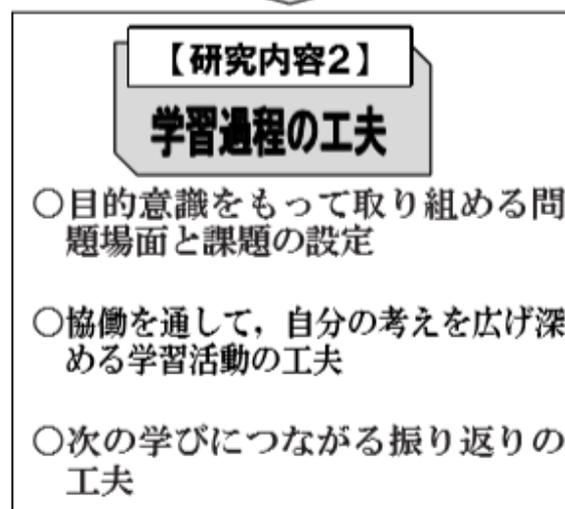
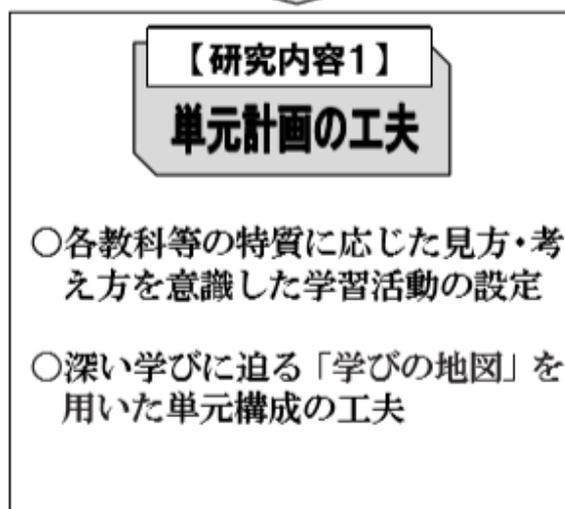
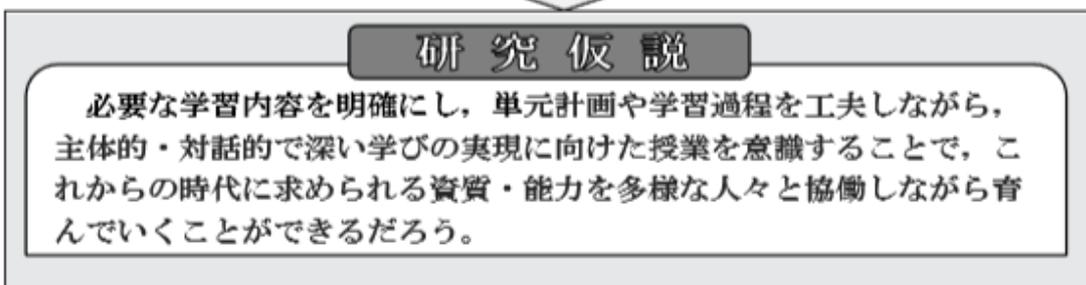
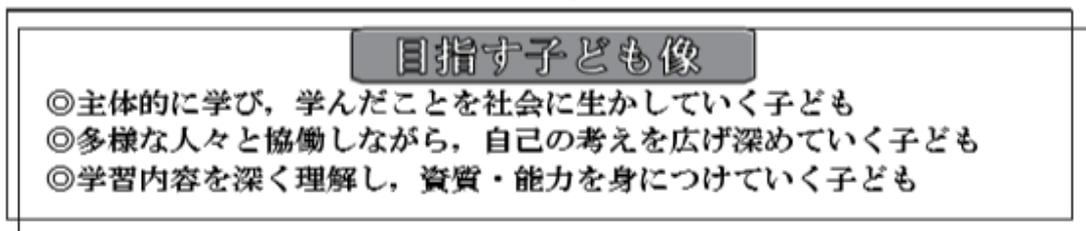
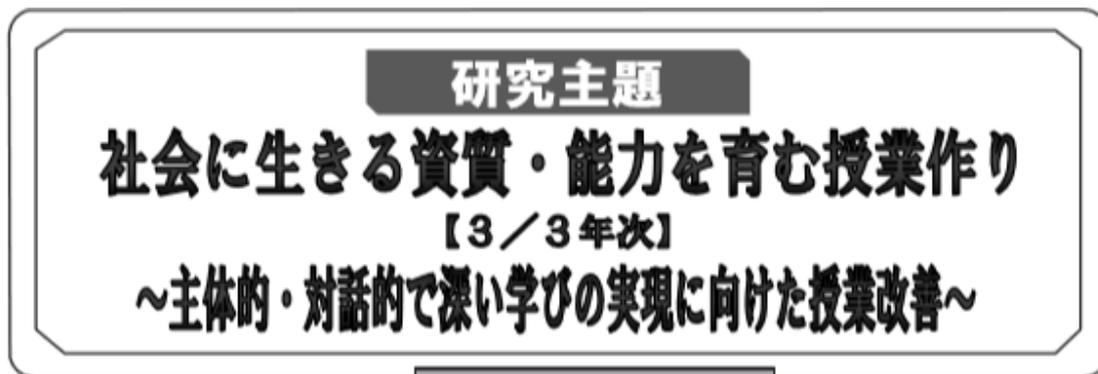
- ・協働を通して、自分の考えを広げ深める学習活動の工夫

新学習指導要領には、多様な他者と協働することの重要性などを理解することの大切さや子ども同士の協働、教職員や地域の人との対話、先哲の考え方を手がかりに考えることなど、自己の考えを広げる「対話的な学び」についてその重要性が挙げられています。

本研究所では、協働的な学びや対話的な学びを目指すとき、交流や話し合いといった「学び方」はもちろん、対象となる集団の「集団の協働性」について考えることも大切だと考えています。



くわしい研究内容につきましては、昨年度の研究紀要(平成30年度)やホームページ「せんけん Web」をご覧ください。また、今後行われます釧路講座にご参加いただければ幸いです。その際にはたくさんのご意見をお聞かせください。よろしくお願いいたします。



釧路教育研究所の研究に少しでも興味をもっていただき、釧路の教育の充実・発展に向けて共に取り組んでいけたらと考えています。今後どうぞよろしくお願いいたします。

# 令和元年度 管内公開研究会情報

	開催日	会場校	指定など	研究主題	教科
厚岸町	11/29(火)	真龍 中学校	自主公開	基礎基本の定着を図り、主体的に学びを続ける態度を育成する授業の在り方 ～真龍中スタンダードに則した授業、身近な生活体験に結び付く授業の実践～	全 教科
浜中町	10/30(水) 予定	霧多布 中学校	町指定	主体的に考え実践する、心豊かな生徒の育成 ～自他を受け容れ、深め合う道徳教育の実践を通して～	道徳
標茶町	7/19(金)	標茶 幼稚園	北海道公立幼稚園・こども園教育研究指定	幼児が主体的に活動できる幼稚園生活とは ～幼児が生き生きと活動する保育者の役割～	—
	11/6(水)	標茶 小学校	自主公開	自ら学び、心豊かに未来を切り拓いていく児童の育成 ～伝え合い、高めあう授業を通して～	国語
	11/15(金)	磯分内 小学校	町へき複研	自ら考え、自分の思いを伝え、お互いを認め合える児童・生徒の育成 ～各教科、道徳における授業改善を通して～	全 教科
弟子屈町	9/11(水)	美留和 小学校	町指定 (複式)	活用する力を高める算数科授業の創造 ～小規模校における数学的活動の工夫～	算数
	11/27(水)	川湯 小学校	町指定	「自分の思いや考えをもち、進んで伝え合う子ども」の育成 ～学んだことを活用する学習指導の工夫を通して～	国語 算数
鶴居村	9/20(金)	下幌呂 小学校	道教委 道徳教育 推進校事業	仲間の思いを受け止め、自分の考えを広げ・深めることのできる児童の育成 ～特別の教科道徳を要として～	道徳
	11/21(木) 予定	鶴居 小学校	自主公開	主体的に関わり合い、学びを広げる・深める子どもの育成 ～対話・ふり返りを生かした教師一人一人の日常授業実践の工夫と改善～	全 教科
白糠町	11月 (未定)	白糠 中学校	町指定	仲間と関わり合い、粘り強く課題に取り組む児童生徒の育成 ～小中共通の問題解決的な学習をとおして～	未定

## 事務局通信

■先月末の猛暑から一転、6月に入ってから気温の低い日が続いています。運動会・中体連なども天気予報とにらめっこする日々が続いていたのではないのでしょうか？また、これからは体育祭が行われる中学校も多いのではないのでしょうか？7月に入っても、まだまだ忙しい日々が続きます。先生方におかれましては、体調に十分に留意されて充実した1学期の締めくくりとなりますようお祈り申し上げます。■釧研講座も順次開催しております。参加いただいた先生にとって、明日からの実践に生かせるよう準備を進めております。×切前の講座につきまして、改めて参加をご検討ください。(事務局)

★釧路教育研究所★ 所報293号

発行日：令和元年6月

発行所：釧路教育研究所

発行者：水上俊司

URL

<http://senken.net/>

E-mail

[info@senken.net](mailto:info@senken.net)